



地域企業紹介 89

日本微生物クリニック株式会社
代表取締役 土崎尚史

ミクロの世界のトラブルシューティング

微生物・微粒子の検査・分析を主な事業とする日本微生物クリニック株式会社(略称:JMC)の代表取締役である土崎尚史社長を厚木市岡田の本社に訪ねました。

川海水1mlには少なくとも10万匹、土1gの中には数億匹、人の腸内には約100兆匹の微生物が住んでいるという。同種を含めた数ではあるものの、非常に膨大な数字だ。日頃は目に見えないので気づくことはないが、私たちは微生物と密に付き合いながら暮らしているということになる。微生物とは「肉眼では見えない小さな生物」の総称で、これには細菌(バクテリア)、真菌(カビ・酵母類)、微細藻類、原生動物など様々な生物が含まれる。これまで1万種程度の微生物の実体がわかってきているが、実際の自然界に存在する微生物の1%にも満たないと推定されている。つまり、環境中の微生物の大半は依然として未知のままであるということになる。こうした中、微生物や微粒子に特化した専門家として、目に見えない微小な世界の情報をお客さまに代わって視覚化することを使命としているのがJMCだ。公平な目を持つ第三者機関として、またお客様の第二実験室として、微生物に関する様々な問題の解決策を見つけ出す、まさに「ミクロの世界のトラブルシューティング」がJMCの主力業務といえる。

JMCは、1978年に現会長である土崎南氏(尚史氏の父)によって創立された。創立のきっかけは、南氏が海外で開発された「ろ過フィルター」を活用し、半導体製造に必要な超純水の「検査技法」を確立したのが始まりだ。現在、業務の8割を占める検査・試験部門を中心に、ろ過フィルターなどの商品販売部門とろ過装置などの販売商品のメンテナンス部門を事業の三本柱としている。主要業務である検査・試験部門は、「食品衛生関連」、「各種微生物検査・試験」、「超純水・微粒子関連」、「製薬関連」、「各種公定法準拠試験」、「微生物同定試験」、「異物分析」のほか、公定検査にはない検査・試験も行う。昨今、コンプライアンス(法令遵守)の重要性が叫ばれる中、製造物責任法(PL法)、環境に対する責任並びにHACCP(食品衛生管理手法)、GMP(医薬品の製造管理及び品質管理)などに基づく一連の製造プロセスを実現することが、今や企業の社会的責任に直結している。こういった厳格な製造管理を行う企業に対して、JMCは製品や製造環境に関する検査・調査、および試験・評価をサポートする。そんなJMCの強みは、①納期の速さや軽いフットワーク、②公的に有効な資格や認証を保有、③独自のアイデア・新規の検査手法による公定法にない検査・試験の受け入れ、④親身になったアフターフォロー、⑤充実したアライアンスによるワンストップサービスが挙げられ

代表取締役：土崎尚史(つちざきなおふみ)

所在地：神奈川県厚木市岡田5-17-1 JMCビル

従業員数：10名

事業内容：微生物・微粒子の検査分析業務

URL：<http://biseibutsu.co.jp/>

る。さらに ISO17025 適合（国際基準適合）、抗菌分野における JNLA 登録機関（経産省 NITE）であるほか、除菌分野では洗剤（住宅用洗剤・台所用洗剤・洗濯用洗剤の 3 カテゴリー）、およびウエットワイパー類で認定機関に指定されており、品質管理や信頼性の高さにつながっている。社名にある“クリニック”には、大学病院などの大病院とは異なり、だれでも気軽に訪れることができる“街の診療所”でありたいという思いが込められている。「派手な仕事ではないが、自社の強みを活かしながら微生物トラブルを解決する“縁の下の力もち”のような存在でありたいです」と土崎社長。お客様が製品回収の判断に迫られる状況では、独自の速報通知サービスを適時行うなど、民間企業ならではの強みを活かすことで臨機応変に、かつ、お客様に寄り添いながら手厚くサポートしている。

土崎社長は、子供の頃から日常的に微生物に関する専門用語が交わされる家庭環境もあって、動物や昆虫などの図鑑を見るのが好きな少年だったそうだ。高校生の時には JMC で働くことを意識してか、理科は生物を選択、明治大学農学部農芸化学科に進学し、大学院を経て同社に入社した。同時に国立感染症研究所（新宿区）研究員となり、約5年にわたっ

て人命に直結する病原菌に関する研究に携わったことは、現在の仕事につながる貴重な経験であった。2019 年に代表取締役役に就任した土崎社長の趣味は、DIY や昆虫採集、砂浜で漂流物を見つけること。特に鎌倉の材木座海岸では桜貝や鎌倉幕府時代の沈没船から出てきたものと思われるお宝(?)を探るのがとても楽しいのだとか。そのほかにも絵を描くことが好きで、今では趣味の域を超えて『日本機能水学会』のポスター制作もライフワークとなっているとのこと。

4年後の創立50周年に向けて、土崎社長は「他機関にはないサービス精神とユニークな発想力で微生物・微粒子問題を抱える“あらゆる業界”を対象に各種の試験・検査事業を展開していく。特に製薬や飲料、工業、殺菌関連企業など緊急性・重要度の高い試験・検査や開発案件を中心に受注を伸ばしたい。そのためには自社の存在をもっと知っていただく必要があり、HP の改良や大学や研究機関へのアプローチ、展示会等の活用を行っていきたい」と意欲を燃やす。目に見えないミクロの世界のトラブルシューティングで社会に貢献する日本微生物クリニックの土崎社長とスタッフの皆さんに心から熱いエールを贈りたい!

海外の先端技術を他社に先駆けて 取り入れ、ものづくりに貢献!

産業用ロボット、バーチャルリアリティ機器、医療関連機器、精密測定機器などの販売及びシステム設計を行う日本バイナリー株式会社。その代表である吉水瑞晴社長にお話を伺いました。

日本バイナリーの本社は東京都港区で、吉水社長は毎朝、通勤ラッシュを避けて早朝には出勤しています。海外の大学や企業との共同研究・開発のため、年間10回ほど渡航されるとのこと。大学では理学部数学科に進み、メーカーや貿易会社での勤務を経て1979年に日本バイナリーを創設しました。

海外の最先端技術を日本の企業や研究所に届けることを経営理念とする日本バイナリー。ソフトウェア・ハードウェアの両面からの事業展開を積極的に進め、現在では産業用ロボットや医療関連機器、各種精密測定機器の開発・販売へと事業領域を広げてきました。その中の1つとして推進している3D金属プリンタの開発を進めるため、都内本社に加え、SIC内にも開発拠点を設けています。

3D金属プリンタには様々な方式があり、日本バイナリーも複数タイプの製品をラインナップしています。SIC内で開発を進めているのは糸状の専用フィラメントを溶解しながら積層させる卓上

型の3D金属プリントシステムです。使用するフィラメントは金属粉末と特殊な接着糊と混合させることで多様な積層造形を安価に実現する一方、接着糊に含まれる有機分が燃焼することで有害なガスを発生させ、その対策が課題となっています。イノベーションが加速するものづくりにおいて、3D金属プリンタへの産業界での期待は大きく、日本バイナリーはその開発に挑戦してきました。製品化したのは“メタルデスク - Method 316L”で、40種類以上の材料に対応した卓上型3D金属プリンタに加え、脱脂・焼結用電気炉と脱脂時に発生するガスを無害化し、完全排気するドラフトチャンパーを構成するシステムです。

日本バイナリー本社は ANYbotics 製の階段昇降が可能で完全自律移動が可能な4足歩行ロボット“ANYmal”の国内総販売代理店として、また、協働ロボットとして導入が進む UNIBERSAL ROBOTS 社の国内正規販売代理店として、導入先へのカスタマイズやユーザー教育を行う事業も展開しています。その他、過酷な作業環境や遠隔手術でも応用可能な、反力による直感的ロボット操作が可能な力覚フィードバック装置の開発にも取り組んでいます。国内大手企業の生産技術部門や国公立研究所・大学の研

究ニーズに対応するため、海外の先端ロボットとその周辺技術を自社に取り込みつつ、先端技術の普及を見据えた開発・販売に取り組んでいます。



メタルデスク - EVO 316L : 左からドラフトチャンパー、電気炉、3Dプリンタ



本社開発室で走行実験中の4足歩行ロボット“ANYmal”

日本バイナリー株式会社
SIC-2 Creation Lab. 2207 号室
(本社：東京都港区芝 2-3-3
芝二丁目大門ビル 2F)
<http://www.nihonbinary.co.jp/>



Job 総研による 2023 年上司と部下の意識調査では、部下を叱った経験がない上司は6割超にのぼっています。筆者が中小企業の間管理職者を対象に実施したインタビューでも、「部下に嫌われたくない」「パワハラになったら・・・」「辞められたら困る」などの理由から、叱ることの難しさが一番の課題となっています。部下においても、日本能率協会の 2022 年新入社員意識調査では、理想の上司・先輩として「場合によっては叱ってくれる人 (17.6%)」は 2012 年の 33.7% から大幅に低下しています。他方、意欲や能力を高めるために上司や人事へ期待することは「成長や力量に対する定期的なフィードバック (61.8%)」が最多でした。つまり、上司は叱りたくない、若手社員も叱られたくない、けれど成長に役立つフィードバックは求めるという状況が読み取れます。そこで本稿では、部下の成長を促す「建設的な」フィードバックの実践について紹介いたします。

上司のフィードバックは、部下の行動や成績に関するコミュニケーションと評価で構成され、部下の望ましい行動や期待を満たす成績を強化するためのポジティブなフィードバック、望ましくない行動や期待を下回る成績の改善を促すためのネガティブなフィードバックの両方が含まれます。この場合のネガティブフィードバックは、部下を叱責する、つまり叱ることではありません。「叱る」には『目下の者の言動のよくない点などを指摘して、強くとがめ

る』といった意味合いがありますが、ネガティブフィードバックは、改善が必要な点を「建設的に」伝えることで、部下の成長を促すものです。

「建設的な」フィードバック実践の方法として、以下のステップが推奨されています。

- ・適切なタイミングで行う。
- ・感情に流されず、事実ののっぺり。
- ・穏やかな、威圧的ではない口調で話す。
- ・部下の人格や人間性ではなく、変化を要する具体的な問題に言及する。
- ・変更が可能な行動だけを取り上げる。
- ・部下の行動改善に役立つ具体的な情報を提供する。
- ・行動を変えることのメリットについて部下と話し合う。
- ・改善に向けてどのような支援が必要であるかを部下に尋ねる。
- ・改善に必要な部下の能力に対する自信を表明する。

これまでの研究から、建設的なフィードバックは、部下のワーク・エンゲイジメントやパフォーマンス、仕事満足度を向上させることが明らかになっています。

なお、「建設的な」ネガティブフィードバックを行う際の注意点として、ネガティブフィードバックをポジティブフィードバックの間に挟む「サンドイッチ式（最初にほめる→本題となる変化／改善を要請する→ポジティブな言葉で

締めくくる）」は避け、ポジティブとネガティブを切り分けます。なぜなら、「変化／改善を求める内容」がポジティブな言葉の陰に隠れてしまい明確に伝わらない、あるいは、この方式が習慣化してしまうことで、部下は「ほめられた後は、何か叱られる」と思い込み、純粋にほめられるべき場面でも、素直に受け入れられなくなってしまうからです。また、人はポジティブな情報よりもネガティブな情報に注意を向けやすく、記憶にも残りやすいことから、ポジティブフィードバックとネガティブフィードバックの比率は5対1が良いとされています。いずれにしても、「建設的な」フィードバックを実践するためには、日頃から部下の様子を観察すること、部下との信頼関係を築くために注力することが欠かせません。



松田チャップマン与理子

桜美林大学 健康福祉学群／国際学術研究科
心理学実践研究学位プログラム 教授

大中小の国内・国外企業でマーケティングを専門に長年勤務した経験も活かし、ポジティブ組織心理学の分野で「働く人のウェルビーイングと組織の繁栄」に関する研究と実践を行っている。現在は、特に部下の育成を促す上司のコーチングスタイルに力を入れている。

勝来軒

南橋本駅西口から徒歩1分。地元と近隣企業の皆様に愛され続けて 43 年の中華料理の勝来軒で人気の4品をいただきました。

北京料理の初代店長と四川料理の二代目店長、親子二代の料理人が生み出す味は、明日も、明後日も食べたくなる美味しさ。北京料理の味が生きる五目うまにそばと餃子、熟成された中国豆板醤を当店でブレンドした四川料理の陳麻婆豆腐、そして親子二代で守る定番のチャーハン、チャーシューの味が引き立つとてもやさしい味。すべて子どもから大人まで楽しめる美味しい町中華の味です。

オムライスやかつ丼がある豊富なメニュー、店に掲げる旧南橋本駅の写真と JR の時刻表。この街とお客様を大事にしてきた勝来軒のやさしい味を食べに来てください。(稲垣)

【所在地】相模原市中央区南橋本2-3-12 【定休日】日曜日
【営業時間】11:00～21:00 【TEL】042-773-6393



スープのうまみがたまらない五目うまにそば



いつも笑顔の森山店長



もちりの皮でキャベツをふんだんに包んだ餃子とチャーハン



ほど良い辛さにしっかりとしたコクとうまさがある陳麻婆豆腐



経営者セミナーを開催しました。



2月20日に4年ぶりの対面開催をした経営者セミナー。

当日は講師の鶴養（うかい）氏より、“貞観政要”を基にリーダーシップについて先人の知恵を活かす方法を学びました。参加者の方から「深い研究に裏付けされた講演内容は説得力があり、資料も充実して参考になりました。」といったお声を頂きました。

消防訓練を実施しました！



西橋本のSIC-1・2、上溝のSIC-3はそれぞれ相模原消防局相原分署、上溝分署のご協力のもと消防訓練を行いました。

詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.sic-sagamihara.jp>

令和6年3月時点 SIC EVENT CALENDAR イベントカレンダー

令和6年3月27日(水)	The HINT64 「BtoB型企業のWebマーケティング実践(基本編)」
令和6年3月27日(水)	やまと省エネカフェ(大和市)

knock! knock! 入居企業を募集しています。

SIC空室情報 (令和6年3月15日 現在) ※お気軽にお問い合わせください。

部 屋	空室数	賃料/月額 (共益費込・消費税込)
SIC-1 Startup Lab.	○ラボ (94.5㎡)	1※1 271,260円
	○セミラボB (31.5㎡)	1 108,240円
	○スモールオフィスA (23.6㎡)	3※2 86,570円
	○スモールオフィスB (17.3㎡)	2 70,620円

※1令和6年7月以降、※2うち2部屋 令和6年5月以降
最新の情報はウェブサイトをご確認ください。

サガツクナビ

2025 掲載企業募集

地域密着型採用支援サービス サガツクナビは、2025年卒業生向けの求人情報サイトを公開しています。本サイトは“サガツクナビ 2025”掲載のみの場合は無料※でご利用いただけます。

相模原周辺の地域密着型就職支援サービス

お申込みはこちら



※お申込後、スタッフが詳細説明のため訪問させていただく場合があります。また掲載には審査があります。

オフィス空室情報

創業間もない企業および個人、新分野進出による事業化を目指す中小企業向けのSIC-1 Startup Lab.※に空室がございます。

空室のスモールオフィス A は複数名の利用に最適です。



スモールオフィスA

23.6㎡ タイルカーペット床
賃料+共益費 86,570円 (税込)

※SIC-1へのご入居は条件および審査がございます。また入居期間は3年間(2回に限り2年間の再契約可)になります。詳細は弊社HPまたはお電話にてお問い合わせください。

SIC-1詳細



編集後記

新年度まであと少し。初めて部下を持つ、あるいは違う世代の人と接する方もいると思います。中面の松田教授のコラムは、「部下へのフィードバック」について掲載しています。ゆとり世代の私も、叱る・叱られるには苦手意識があります。改善のために、まずはいたずら好きな姪(5才)へ建設的なフィードバックをしたと思います。



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想を
お待ちしております。

ウェブサイト <https://www.sic-sagamihara.jp/>